

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・凍結皮膚組織・水疱内溶液など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・凍結皮膚組織・水疱内溶液など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。

【研究課題名】 経皮的に検出されるサイトカインの臨床的意義

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院皮膚科

【研究責任者】 難波千佳（皮膚科 助教）

【研究の目的】

愛媛大学医学部附属病院皮膚科では、経皮的サイトカインの測定による侵襲の少ない迅速診断法の確立を目標とし、ニトロセルロースメンブレンを用いた検討を行っています。今回の研究では、炎症性皮膚疾患で増えているサイトカインを患者さんの保存されている血液、皮膚組織検体を用いて検討し、診療録（カルテ）の調査を行います。この研究はこれらの炎症性皮膚疾患における発症の誘因・診断の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2011年以降に愛媛大学医学部附属病院で炎症性皮膚疾患（多型紅斑、Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死症などの薬疹、中毒疹、水疱性類天疱瘡、多型慢性痒疹、結節性紅斑、乾癬など）の診断のために、採血、皮膚生検などの検査を行った患者さん。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、診断名、発症時期、薬疹の場合被偽薬及び被偽薬の投与期間など、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療、経過等

(利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料(血液・凍結皮膚組織・水疱内容液など)

**【研究の発表】**

この研究で得られた情報は、学会や論文にて発表されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 皮膚科 難波千佳

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院皮膚科 難波千佳  
791-0295 愛媛県東温市志津川  
Tel: 089-960-5350